

ことわざ・慣用句 体の言葉の慣用句（16問） 版Iの答え

※ ひらがなで書いても正解です。

() に体の一部をあらわす言葉を入れて、意味に合う慣用句にしましょう。

(1) () が上がらない：お世話になったりして、相手に強く出られないこと

頭

(2) () が高い：よいものを見分ける力がすぐれていること

目

(3) () にたこができる：同じことを何度も聞かされて、いやになること

耳

(4) () に汗をにぎる：どうなるか気になって、はらはらするようす

手

(5) 目と () の先：すぐ近くであること

鼻

(6) () によりをかける：自分の力を出しきって、物事をするこ

腕

(7) () を持つ：味方をするこ

肩

(8) () も足も出ない：どうすることもできないこ

手

(9) () がおどる：楽しみやうれしさに、わくわくすること

胸

(10) () をくくる：どうなってもいいと、かくごを決めるこ

腹

(11) () をかかえる：どうしたらよいか分からず、とても困ること

頭

(12) () を曲げる：きげんを悪くして、すなおでなくなるこ

へそ

(13) () が痛い：自分の弱いところを言われて、聞くのがつらいこ

耳

(14) () をすます：注意して、よく聞こうとすること

耳

(15) () を惜しまない：苦勞をいやがらずに、いっしょうけんめい働くこ

骨身

(16) () にしみる：心に深く感じるこ

身